

8-1-10 広報事業専門委員会

1. 主な活動の記録

中期行動計画（2019～2022）で広報事業専門委員会が担務する施策3-1“魅力ある建設コンサルタントの広報活動の推進”に沿って、2020年度計画を立案し、各委員で分担して下記の事項を実施した。

(1) 広報事業専門委員会の開催

委員会開催回数：10回（8、3月は休催）

(2) 学生懸賞論文の募集・表彰

学生懸賞論文の募集を6月1日から9月30日の間で、2テーマから選択する方式で実施した。審査の結果は、会誌「Consultant」および協会ホームページ（以下、協会HP）に掲載した。

(3) 建コンフォト大賞の募集・表彰

一般および中・高校生を対象としたフォトコンテスト「建コンフォト大賞」および「建コンフォト大賞Jr.」は、新型コロナウイルスの感染拡大を考慮し、募集を中止とした。

(4) 建コンフォト大賞入賞作品の活用による広報活動

建コンフォト大賞の入賞作品を活用した展示会を、例年通り、首都高川口PAおよび日本大学理工学部オープンキャンパスにおいて開催する計画としていたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で中止になった。

なお、支部開催のイベントへの入賞作品パネルの貸出、協会HPの建コンフォト大賞ページの作品ギャラリーおよび建コンフォト大賞Jr. 応募作品モザイクアートの更新は行った。



建コンフォト大賞Jr. フォトモザイクアート

(5) 会誌モニタリングと結果のフィードバック

会誌発刊毎（年4回）に委員全員によるモニタリングを行い、その結果を基に委員会に会誌編集専門委員長を招聘して意見交換を行った。

(6) その他

広報戦略委員会の要請により協会カレンダー製作に伴う建コンフォト大賞の入賞作品の画像データの収集と提供、「建設コンサルタント白書」のグラビア原稿作成を実施した。

【学生懸賞論文の審査結果】

テーマ（2つより選択。1人で両テーマに応募することも可）

①「あなたが市長なら、どのような“まちづくり”をしたいですか？」

②「新たな土木技術で、あなたの身近な地域の防災力をアップデートせよ」

応募結果 総数：15編

審査結果

優秀賞：1編

「宝塚市におけるバーチャル二地域居住モデル構想」（テーマ①）

芝田 涼希氏（大阪市立大学）

特別賞：3編

「いの町における伝統技術継承問題から考える地域再興計画」（テーマ①）

辰巳 詞音氏（島根大学大学院）

「防災情報としての公的営造物トレーサビリティの確保と活用」（テーマ②）

芝田 涼希氏（大阪市立大学）

「少子高齢化時代における多色的なまちづくり」（テーマ②）

三宅 真優加氏、日野田 圭祐氏（香川大学）

2. 次年度の活動について

中期行動計画（2019～2022）施策3-1「魅力ある建設コンサルタントの広報活動の推進」に沿って、学生懸賞論文および建コンフォト大賞募集・表彰、建コンフォト大賞入賞作品の活用による広報を中心に活動する。

（広報事業専門委員会委員長 早川 裕史）